

定例記者懇談会次第

令和3年7月21日(水) 午後1時15分
牧之原市役所榛原庁舎5階庁議室

1 開 会

2 市長説明

最近の市政運営について (別紙あり)

3 質疑応答

4 報道提供資料

◇学校再編計画 市民意見交換会の開催について資料1

◇第11回牧之原市平和展について (チラシ)

5 懇 談

6 閉 会

次回記者懇談会 8月30日(月) 午後1時15分～

学校再編計画 市民意見交換会の開催について

1 趣旨

学校再編計画素案内容や市の進め方等について、市民に周知するとともに、再編計画に対して意見をいただき今後の検討の参考とする。

2 対象と内容

- (1) 高校生 地域リーダー育成プロジェクトのプログラム内で2回開催。
- (2) 保護者 未就学児の保護者を対象に開催。
- (3) 地域 榛原地区、相良地区、牧之原地区の3か所で開催。(学校組合は、牧之原小学校区の菊川市民も対象)

※ これらとは別に市内小中学校12校の教職員を対象にした意見交換会も実施する。

3 日程

	対 象	開 催 日 時	場 所	備 考
1	高校生	6月22日 (火) 16:15~18:15	相良高校	7/27は高校生が新しい学校をデザインするワークショップを行う。静岡大学教職大学院生17人が参加予定。
		6月24日 (木) 16:30~18:30	榛原高校	
2	高校生	7月27日 (火) 13:30~15:30	史料館2階ホール	
3	保護者	7月22日 (木・祝) 14:00~16:00	さざんか2階会議室	チラシやインターネットにより募集。申込み制。
4	地域 (榛原地区)	8月5日 (木) 19:00~21:00	さざんか2階会議室	自治会役員、小学校PTA、幼稚園保護者の代表
5	地域 (相良地区)	8月6日 (金) 19:00~21:00	史料館2階ホール	
6	地域 (学校組合)	8月26日 (木) 19:00~21:00	牧之原コミュニティセンター	自治会役員、小中PTA、保育園保護者の代表

子供たちに伝えたい



牧之原市
MAKINOHARA

第11回 牧之原市 平和展

令和3年

7月31日(土) ▶ 8月10日(火)

時間 午前9時～午後5時

入場無料

会場 相良総合センターい～ら (牧之原市須々木140番地)

展示物

エントランスにて常設展示

- ◆パネル・ポスター 『ヒロシマを知ろう!! 8月6日、きのこ雲の下で』(パネル)
被爆体験証言者と広島市立基町高校との共同制作絵画(複製)
- ◆記録映像・アニメ映像 (広島の記録映像、平和の大切さを訴えたアニメ)

イベント

※上映映画の詳細は裏面参照

図書交流館いこっと・榛原図書館にて
平和関連図書の展示も行っています!!

8/9

(月曜日)

※振替休日

会場 相良総合センターい～ら ホール

開場 9:30 開演 10:00 終了 12:00

- アニメーション映画上映会 “西から昇った太陽” (上映時間:75分)
- 講話 “福竜丸事件に思う” 語り 河村 恵子さん
(第五福竜丸元乗組員 大石又七さんの義妹・牧之原市在住)

※入場は無料です。事前申し込みは不要ですが、先着150名様とさせていただきます。

新型コロナウイルスに関する、上映会来場者へのお願い

- ※受付の際に検温とお名前・ご連絡先のご記入をお願いします。
- ※マスクの着用をお願いします。
- ※発熱等の症状がある場合は、ご来場をお控え願います。
- ※感染症拡大の状況により中止となる場合がございます。

映画上映に寄せて

いわゆるビキニ水爆・第五福竜丸被災事件は、1954年3月1日に南太平洋のビキニ環礁でアメリカの水爆実験による放射性降下物の被害を受けた人々の事件です。

その中には、焼津港所属の第五福竜丸も含まれていました。

当時は、「放射能マグロ」・「放射能の雨」と大きなニュースになりましたが、あれから68年が経ち、当時のことを覚えている人たちも少なくなりました。

今年3月には、第五福竜丸の乗組員だった吉田町出身の大石又七さんが亡くなり、当時の乗組員さんは、ほとんどいなくなっていました。

彼らの貴重な証言をアメリカの1人の青年が映画にまとめてくれました。日本人として、歴史の証言をしっかりと受け止めて欲しいと願い、この映画を上映します。

上映映画のご紹介

ビキニ水爆被災・第五福竜丸 ドキュメンタリー映画

アメリカ人制作の「西から昇った太陽」



キース・レイミンク監督の言葉（2014年当時）
「約1年半前に、第五福竜丸の悲劇的な話を本の中で偶然知った。自分の国がこのような恐ろしい行為を行ったと知り大変驚いた。自分も知らなかったし、周りのアメリカ人はほとんど知らない。...核兵器が長期間に渡って及ぼす悪影響について知らせたい。」

数々の映画祭で上映
最優秀ドキュメンタリー賞、ベストアニメーション賞などを受賞！

